

SPAC秋のシーズン2025-2026 #2

<きょうを生きるあなたとわたしのための演劇>

人間ドラマを、人間以外の存在からの視点と共に描く新作！
上田久美子がSPACとの初タッグで、シェイクスピアの不朽の名作を初演出

『ハムレット』

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
SPACでは、10月より「SPAC秋のシーズン2025-2026」が開幕いたします。シーズン2作品目では、現在多くの注目を集める劇作・演出家 上田久美子による新作『ハムレット』をお届けします。

普遍的な問いを投げかけるシェイクスピアの傑作悲劇

「生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ。」シェイクスピアの四大悲劇の一つ『ハムレット』。それは「自由」という名の自我を手にした近代人特有の悩みを描く史上初の文学作品として、誕生から約400年間、世界中で上演され続けています。父の死をめぐる謎、母への猜疑心… 信じていた世界から、ある日突然切り離されたと感じ、孤独と苦悩に打ちひしがれる王子ハムレット。解決の糸口をなかなか見出せないまま必死にもがき続ける彼の姿は、私たちの眼前に「生きるとはどういうことなのか」という普遍的な問いを突きつけるかのようです。

劇作・演出家 上田久美子 人間以外の存在から、人間を見つめる試み

演出の上田久美子は、宝塚歌劇団演出部時代に、深遠なテーマ性とエンタテインメント性を兼ね備えた作品を数々発表し、注目を集めてきました。2022年劇団退団後は、一表現者として自身の興味・関心に基づく創作活動も精力的に行なっています。その中でも「プロジェクト・ブネウマ」では、振付家・ダンサーの川村美紀子をはじめ多様な背景を持つアーティストと協働し、虫や微生物、植物といった、さまざまな生命が有するそれぞれの時間を並列的に描くことで、ヒトの時間やドラマを相対化させる試みを展開してきました。このプロジェクトで上田が一貫して取り組んできたのが『ハムレット』の一節、主人公の恋人オフィーリアの溺死の描写でした。

劇団SPACの集団創作力との化学反応に注目！

大衆性と芸術性の架け橋となり、「初めて観る人が楽しめる」ことにこだわる上田。そして、神話や叙事詩といった戯曲ではないテキストをも集団創作で舞台化するSPAC。この初タッグから、何が生み出されるかにも大きな注目が集まります。今回の上演では長大な原作を、河合祥一郎訳に上田自身によるくだけた現代語訳も織りまぜ、分かりやすく再構成しています。そして、ハムレットから自分の物語を人々に語り伝えるように託される友ホレイシオに代わり、死後に分解され無数に分裂したオフィーリアたちが、事の顛末を演じ出すという枠構造を設け、「プロジェクト・ブネウマ」で試行した方法を舞台に初導入します。上田の斬新なコンセプトのもと、川村美紀子のムーブメント指導によって、高い身体能力を備えた俳優らが舞台上に出出させる人間ならざるもの。それらに満たされた空間からく新たに見えてくるハムレットやオフィーリアの物語に、どうぞご期待ください。

稽古写真

©SPAC photo by Y.Inokuma



▲演出をする上田久美子(写真中央)

▲ハムレット/山崎皓司(左)と
ホレイシオ/本多麻紀(右)

▲打楽器器演奏/俳優・吉見亮

▲ゴローニアス/若宮羊市(左)
とオフィーリア/橋原有美(右)

■あらすじ

王子ハムレットは、父の突然の死を知り、留学先より急いで戻る。すると祖国では、叔父のクローディアスが王位を継ぎ、母は叔父と再婚。全てを失い呆然とするハムレットに父と思しき亡霊が。「私を殺したのはおまえの叔父だ、復讐せよ！」と。果たして、この言葉は本当なのだろうか？ハムレットは狂気を演じることで、真実を探ろうとするが……

演出家プロフィール



©matron2023

上田久美子(うへだ・くみこ)

奈良県出身、劇作・演出家。一般企業勤務を経て、2006年より宝塚歌劇団演出部に所属。2015年、『星逢一夜』にて読売演劇大賞優秀演出家賞。オリジナル戯曲で深遠なテーマ性とエンタテイメント性を両立させ支持を集めたが、2022年に退団。宝塚以外での作品は、2022年、スペクタクルリーディング『パイオーム』(脚本)、2023年全国共同制作オペラ『道化師・田舎騎士道』(演出)など。『パイオーム』で岸田國士戯曲賞最終ノミネート。2025年、主催公演『寂しさにまつわる宴会』(脚本/演出)。アートと娯楽の境界を取り払って、多様な人々に同時代の問題を共有できる作品を生み出すことを目指している。セゾンフェローⅡ。

SPAC秋のシーズン2025-2026 #2

『ハムレット』

演出:上田久美子 作:ウィリアム・シェイクスピア

翻訳:河合祥一郎(角川文庫『新訳 ハムレット 増補改訂版』)

照明デザイン:大迫浩二/舞台美術デザイン:深沢襟/音響デザイン:澤田百希乃/衣裳デザイン:清千草

出演:

ホレイシオ:本多麻紀

オフィーリア/ハムレット:山崎皓司

オフィーリア/クローディアス:武石守正

オフィーリア/ガートルード:館野百代

オフィーリア/ポローニウス:若宮羊市

オフィーリア/レアーティーズ:杉山賢

オフィーリア/ギルデンスターン:ながいさやこ

オフィーリア/ヴォルティマンド:吉見亮

オフィーリア/役者・道化:阿部一徳

オフィーリア/役者・道化:貴島豪

オフィーリア:榎原有美

オフィーリア/フォーティンブラス:宮城嶋遥加

公演日:

11月9日(日)、15日(土)、22日(土)、23日(日・祝)、29日(土)、12月6日(土)、7日(日) 各日13:30開演

会場: 静岡芸術劇場(グランシップ内)

SPAC秋のシーズン2025-2026

今年度はアーティストック・ディレクターに劇作家・石神夏希を迎え、第一線で活躍するアーティストたちによる3作品を静岡芸術劇場ほかでお届けします。シーズンのディレクションに〈きょうを生きるあなたとわたしのための演劇〉というメッセージを込め、『弱法師』(演出:石神夏希)・『ハムレット』(演出:上田久美子)・『ガリレオ〜ENDLESS TURN〜』(演出:多田淳之介)の3作品を上演いたします。

チケットお取り扱い

◎SPACチケットセンター

TEL:054-202-3399

(10:00～18:00、休業日を除く)

ウェブ予約:<https://spac.or.jp/ticket>

窓口販売:静岡芸術劇場チケットカウンター

(10:00～18:00、休業日を除く)

チケット料金 (税込・全席指定)

一般:4,600円

障がい者割引:3,200円

U25・大学生・専門学校生:2,200円

高校生以下:1,100円

SPACの会個人会員一般:3,900円

●鑑賞サポート

SPACでは、より多くの方にご観劇いただけるよう鑑賞サポートの実施を行っております。本作では、下記のサポートがございます。

バリアフリー日本語字幕【無料・要予約】

11月7日(金)、11月29日(土)

12月6日(土)、7日(日)

英語字幕【無料・要予約】

11月29日(土)、12月6日(土)、7日(日)

親子室【要予約】全日程

チケット料金:大人1名様につき 3,200円

座席の必要なお子様1名 1,100円

座席不要のお子様 無料

関連企画

●アーティストトーク

終演後にトークを開催。参加無料／予約不要

日時:2025年11月9日(日) 終演後

登壇:上田久美子、石神夏希

参加無料・予約不要

※ご参加には当日のチケットが必要です。

●ハムレットマラソン

参加者に場面ごとに役を割り振り、戯曲『ハムレット』を声に出し、全編通して読む企画です。シェイクスピアの言葉を朗読することで新たな側面や楽しみ方を発見することを目的としています。所要時間5時間を超える長丁場で、じっくり『ハムレット』に向き合う挑戦的な試みです。

日時:2025年11月16日(日) 13:00～18:30

会場:静岡芸術劇場 2F カフェ・シンデレラ

参加費:1,000円

※詳細はSPACウェブサイトをご参照ください。

そのほか公演前後に参加可能な企画をご用意しております。詳細はSPACウェブサイトをご確認ください。

中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも!」

「SPAC秋のシーズン」では平日に県内中高生を劇場に招待する「中高生鑑賞事業」を実施。毎年1万人以上が来場し、2003年度から現在までの累計鑑賞者数は25万人を超えます。2025年からは“劇場で世界の凸凹にふれる”を合言葉に、第一線で活躍するアーティストたちの作品をお届けしていきます。

一般の方がお入りいただける日程もございます。

詳細はSPACウェブサイトにて。